

会社存続も危ぶむ苦境を 独自のアイデアで乗り切る

有限会社異繊維工業所は1928年、現在の大阪府東大阪市にて綿糸の強度を上げる撚糸業として創業しました。1952年には橿原市に大和工場を新設して、1957年に法人化。奈良の地場産業である靴下製造を開始し、複数の商社やブランドメーカーの下請工場としてOEM生産を行い、堅調な経営を行っていました。

しかし3代目の異亮滋さんが社長として就任した2003年は、ちょうど大手企業が人件費の安い新興国へと靴下生産の拠点を移し始めた時期でした。同社への発注も減少の一途をたどり、経営の見通しがつかない危機的状況に陥りました。

「家業に就いた24歳から、掃除や材料運搬、営業など全ての仕事に関わってきました。先代からは継承を反対されましたが、何もせずにあきらめるのは嫌でした」と、異社長は当時を振り返ります。

異社長は就任後、苦境を打破するために価格競争を避け、企画提案型企業として生き残る道を選択。他社との差別化を図るべく、自社ノウハウや製造技術を投入し、オリジナル性や付加価値を高めた独自製品を次々と開発していきました。経営を軌道に乗せた今なお、自ら先頭に立って販路開拓に注力しつつ、新たなアイデアと向き合いながらバラエティーあふれる製品を展開しています。

「お客様からのご意見や悩みを突き詰めていけば、新製品を生み出すアイデアの種へとつながるはず。365日、靴下のことを考えていますよ」

会社の危機を救った 孝行息子「ガッツマン」

目的や用途に応じて幅広く展開する同社製品のなかで最も特徴的なのが、自衛隊員向けに開発された靴下「GUTS-MAN（以下、ガッツマン）」です。頑丈でやぶれにくく、抗菌、防臭、吸汗、速乾性に優れ、一般の40〜50歳男性からも強い支持を集めています。

町工場から温もりを

国産の靴下製造販売会社として創業93年。不況の波に抗い、知恵を絞って生み出したオリジナルティーあふれる靴下製品は、心身を温かく包み込んでくれます。

「自社ブランドを製造販売するようになり、従業員が生き生きと仕事をしています」

開発の発端となったのは、1995年の阪神・淡路大震災でした。被災地の惨状を間近で見ながら、自らの無力さに苛まれていた異社長は、一方で災害救助活動に従事する自衛隊

員の姿に感動し、「何か自衛隊に貢献できないだろうか」と考えるようになり。それから2年後、何のめぐり合わせか、現役の自衛官から頑丈な靴下についての問い合わせを受け、産官学連携での開発へと動き出すことになりました。

求められたのは、厳しい長距離歩行訓練にも耐えうる頑丈さ。強固な糸を用い、何度も試作を繰り返した結果、渾身の一品を生み出すことに成功します。自衛隊駐屯地での展示即売会で好評を博したその商品を、専門研究機関による改良を加えたのちに「ガッツマン」と命名。2004年から市販を開始すると、スポーツやウォーキングなどの愛好者の間でも話題を呼び、ロングセラーとなりました。

コロナショックの渦中でも、ガッツ

マンは会社の土台を支えます。実際に着用した元自衛隊員のインフルエンサーや購入者がSNSなどで同製品の魅力を拡散したことにより、全国から注文が殺到。世の不況をものともせず、売り上げ増の結果を生み出しました。

「自社ブランドを製造販売するようになり、従業員が生き生きと仕事をしています。出荷が間に合わない状況が続きますが、一致団結してがんばっています」と、異社長は微笑みます。

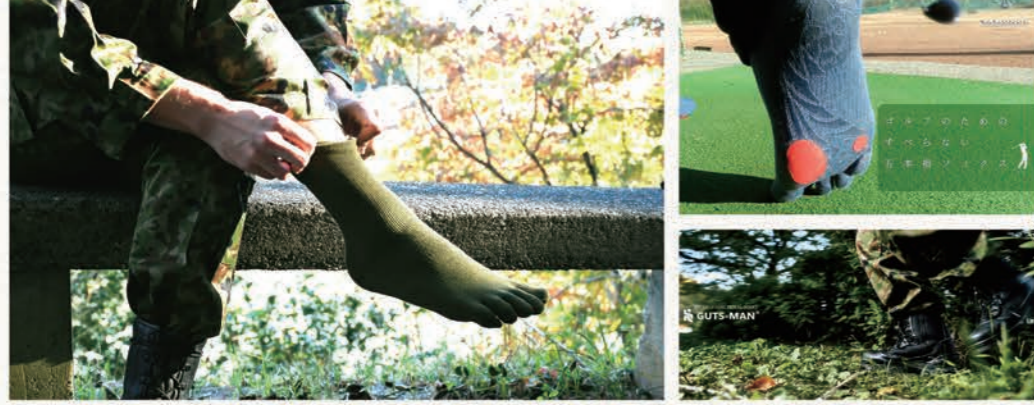
社長の思いを受け継ぎ 女性目線で製品開発

同社が多角的マーケティングによる新たな取り組みを展開するきっかけとなったのは、異社長の長女である美奈子さんの入社です。大学卒業

後、異業種の営業部で4年半の勤務を経て、2016年に入社。前職で培ったガッツを武器に、インターネット販売強化や商品展示会への参加など新たな挑戦を始めました。今年6月に発表した「ならまき〜めつちや薄い腹巻き」は、企画から完成までを美奈子さんが中心となってプロデュースした新ブランド。靴下の技術と製法を生かし、綿と絹の柔らかい肌触りを実現させた、冬に暖かくて夏に涼しい、着用しても洋服に響かない薄さが特徴の腹巻きです。

「女性のための製品を手掛けたかったので、それが形になり、さらに橿原ブランド『万葉×橿原コレクション』に認定されたことは、とても励みになっています。今後はコロナ禍で中止していた自社ブランドの海外展開や新商品開発にも取り組んでいきたいです」と決意を口にする美奈子さんは、今ではすっかり異社長の片腕として頼れる存在に。異社長も「失敗もするだろうけど、そこには成長への種が必ず残っています。試行錯誤の中で学んだことを糧にしてほしい」と期待を込めます。

バブル崩壊以後、業績が長らく落ち込んでいた町工場は、独創的なアイデアとひたむきな努力によって業績回復を果たし、さらなる発展へと邁進します。橿原から全国、やがて世界へ。父と娘の夢はこれからも広がります。



BRAND of FUNCTIONAL SOCKS
GUTS-MAN

人気製品「ガッツマン」は、自衛隊の40キロおよび100キロ行軍に対応する極厚の五本指ソックス。「丈夫で疲れにくい」と好評です。同製品の製造技術は、同社製のスポーツソックスにも活用されています



異亮滋代表取締役と、企画営業を担当する娘の美奈子さん。「地元で就業したい母親を応援する会社として、雇用にも注力していきたい」と異社長は地域貢献への決意を込めます



じんわり温かい「あったかソックス」をはじめ、シルクソックス、スポーツソックスや義手・義足用ソックスなど、用途に応じた製品が勢ぞろい。各製品は、同社ネットショップのほか、直接会社を訪れて購入することもできます。橿原市のふるさと納税返礼品にラインアップされているものもあるので、気になる人はチェックしてみてください



伸縮性がありお腹をすっぽりあためる「ならまき」。女性向けに開発されたものながら、子どもや細身の男性でも利用できます。フンポイントの可愛い刺繍は、大仏や鹿、正倉院の瑠璃杯など奈良をイメージした7種類



information

有限会社
異繊維工業所

橿原市土橋町607
TEL.0744-22-5229
https://www.choku.co.jp

現在、会社の売上の8割以上が、ガッツマンを含めた自社製品によるもの。繁忙期になると、社長を含めた12人の従業員が総出で検品・出荷作業に取り掛かります

